



# I はじめに

富山県は、明治16年に石川県から分県・誕生して以来、今年で141年を迎えました。私たちの先達は、この分県を契機として治水事業や砂防事業を積極的に進めるとともに、道路や港湾など様々な施設を整えてきました。このように土木の仕事を不断に積み重ねてきた結果、現在では全国トップレベルの「住みよい県」という評価をいただいております。

この冊子は今、「とやまの土木」はどんなことをしているのかをご紹介しますものです。本冊子を通して、わたしたちの行う土木の仕事をご理解いただければ幸いです。

## 1 富山県の概要

### 1 自然

富山県は、本州日本海側のほぼ中央部に位置し、東西90km、南北76km、面積は約4,247km<sup>2</sup>で、国土の約1%を占めています。

蝶々が羽を開いたような形で、山と海に囲まれたまとまりのよい県土です。3,000m級の山々が連なる立山連峰と、ここに源を発する黒部川、早月川、常願寺川などの急流河川、その下流には、緑に包まれた扇状地平野、日本海側最大の外洋性湾で海底谷が発達した水深1,000mを超える富山湾に至るまで、高低差4,000mのダイナミックで変化に富んだ地形を有しています。

さらに県東部では、常願寺川流域の立山カルデラや弥陀ヶ原、地獄谷、五色が原などからなる弥陀ヶ原火山があり、県西部にも白山火山が隣接しています。



### 2 人口

富山県の人口は、999,476人（R6.4.1現在）です。これは、面積と同じく全国の約1%です。人口が100万人台に達したのは昭和25年の国勢調査からで、その後、全国的な大都市への人口流出や出生数の漸減により、平成11年から人口は緩やかな減少傾向をたどっています。

## 2 土木部の基本方針

「活力あふれる地域づくり」、「美しい県土づくり」、「安全・安心な暮らしづくり」の3つの基本政策と、それらを支える「地域を支える建設業の振興」の4つの政策により、良質な社会資本の整備を進めます。

### 活力あふれる地域づくり

令和8年度を目標とする指標

【高速道路、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークの整備】

- 東海北陸自動車道の飛騨清見IC～小矢部砺波JCT間の4車線化整備延長  
現状値 令和5年度 14.7km

目標値 14.7km(中間目標値)から増加させる

【国際拠点港湾としての伏木富山港の機能強化】

- 伏木富山港の外貿コンテナ取扱個数  
現状値 令和5年 67,975TEU  
目標値 110,000TEU

### 美しい県土づくり

令和8年度を目標とする指標

【地域の個性を活かした景観づくり】

- 景観づくり住民協定の締結件数(累計)  
現状値 平成30年度 14地区

目標値 17地区

- 良好な景観形成や防災機能の向上が  
必要な道路の無電柱化整備延長  
現状値 令和5年度 49.73km

目標値 51.4km

### 安全・安心な暮らしづくり

令和8年度を目標とする指標

【安全・安心で豊かな住環境づくり】

- 住宅の耐震化率  
現状値 平成30年度 80%

目標値 91%

【防災・減災、災害に強い県土づくり】

- 土砂災害危険箇所の整備箇所数  
現状値 令和5年度 648箇所

目標値 670箇所

### 地域を支える建設業の振興

〈労働環境の改善〉

〈建設企業への支援〉

〈建設業の魅力発信〉

### 3 富山県内の主要事業

凡 例			
道路事業	●	都市計画事業	●
河川事業	●	その他事業	●
砂防事業	●	高速道路	≡
港湾事業	●	北陸新幹線	—
海岸事業	●	国道	—



**道路**  
2

(主) 高岡環状線  
高架橋の整備  
(高岡市上伏間江～佐野)



安全で円滑な交通のため、高架化整備を進めています！

**海岸**  
3

魚津港海岸  
海岸護岸の改良  
(魚津市諏訪町～本町)



高波による住宅等の被害を防ぐため、護岸の改良を進めています！

**砂防**  
1

常願寺川水系 雑穀谷  
砂防設備の整備  
(立山町芦峯寺)



土砂災害を防ぐため、砂防堰堤の整備を進めています！



No.	施設名・場所名	事業内容	地名
<b>道路事業</b>			
1	(主)富山魚津線 今川橋	橋梁架替	富山市高来～水橋辻ヶ堂
2	(主)高岡環状線	高架橋の整備	高岡市上伏間江～佐野
3	(主)黒部宇奈月線	バイパス整備	黒部市若栗
4	(国)415号谷屋大野バイパス	バイパス整備	氷見市谷屋～大野
<b>河川事業</b>			
1	鴨川水系 鴨川	放水路の整備	魚津市港町～相木
2	中川水系 沖田川	放水路の整備	滑川市加島町～下島
3	神通川水系 坪野川	河道拡幅	富山市婦中町西本郷～砂子田
4	庄川水系 地久子川	河道拡幅	高岡市野村～赤祖父
5	泉川水系 泉川	河道拡幅	氷見市島尾外
6	小矢部川水系 横江宮川	河道拡幅	小矢部市小神外
<b>海岸事業</b>			
1	富山海岸	離岸堤整備	富山市浜黒崎外
2	宮崎海岸	離岸堤整備	朝日町宮崎
3	魚津港海岸	海岸護岸改良	魚津市諏訪町～本町
<b>港湾事業</b>			
1	富岩運河・住友運河	遊歩道の整備	富山市運町外
2	臨港道路伏木外港1号線	道路改良	高岡市吉久～能町
3	新港大橋	耐震補強	高岡市石丸外
<b>砂防事業</b>			
1	常願寺川水系 雑穀谷	砂防設備の整備	立山町芦峯寺
2	小矢部川水系 池川	砂防設備の整備	南砺市城端
3	本江(2)地区	急傾斜地崩壊対策	滑川市本江
4	上庄川水系 石戸前谷	砂防設備の整備	氷見市柿谷
5	青根地区	地すべり対策	富山市八尾町青根
<b>都市計画事業</b>			
1	(都)駅前栄町線	現道拡幅、歩道設置	砺波市春日町
2	富山駅付近連続立体交差事業	鉄道高架化・高架下の道路整備	富山市明輪町～曙町
<b>その他事業</b>			
1	富山空港	滑走路・誘導路の舗装改良	富山市秋ヶ島外
2	富山高等学校	トレーニングハウス新築	富山市太郎丸
3	氷見高等学校	武道場改築	氷見市幸町

**都市計画**

2 富山駅付近連続立体交差事業  
鉄道高架化・高架下の道路整備  
(富山市明輪町～曙町)



富山駅周辺の混雑緩和や南北一体のまちづくりを推進します！

**河川**

2 中川水系沖田川  
放水路の整備  
(滑川市加島町～下島)



市街地の浸水被害を防ぐため、放水路の整備を進めています！

Googleマップ上でも確認できます！



## 4 令和6年のトピックス

### ■ 東海北陸自動車道

#### ■ 城端スマートインターチェンジ供用開始

「城端スマートインターチェンジ（以下、スマートIC）」が、県内6か所目のスマートICとして令和5年12月16日に供用を開始しました。

このスマートICの整備により、愛知・長野方面から城端地区へのアクセスや世界遺産である五箇山の合掌造り集落との連携が向上し、新たな観光ルートが形成され、観光客の増加が期待されるほか、医療機関への速達性の向上による救急活動の強化や防災拠点として位置づけられている城端サービスエリアと一般道が直結することによる防災力の強化が期待されます。



城端スマートIC

### ■ 伏木富山港(新湊地区)ガントリークレーンの更新

伏木富山港(新湊地区)では、コンテナ貨物の荷役・荷卸しを行うガントリークレーンが2基整備されており、そのうち、製造から30年以上経過し老朽化が進行していた1基を更新しました。

コンテナ荷役の安定性や定時性の確保が図られ、新湊地区を含めた伏木富山港全体のさらなる利用促進が期待されます。



伏木富山港(新湊地区)ガントリークレーン

### ■ 開館25周年 立山カルデラ砂防博物館

平成10年6月30日に開館した「立山カルデラ砂防博物館（立山町芦崎寺字ブナ坂68）」は、令和5年6月30日をもちまして、開館から丸25年を迎えました。

立山の大自然や、立山カルデラ内で明治39年に着手以来、長年にわたり行われてきた砂防事業について紹介しています。

富山地方鉄道「立山駅」から徒歩1分の場所に位置しておりますので、「立山黒部アルペンルート」、「称名滝」、「立山山麓スキー場」などにお越しの際にも、是非お立ち寄りください。



立山カルデラ砂防博物館

### ■ 令和5年6月、7月豪雨

令和5年6月に白岩川上流で時間雨量最大88ミリの降雨が観測され、7月には県内で初めて線状降水帯が観測され、県内の河川、道路等の被害件数は237件（査定決定額約70億円）にのぼり、被災箇所の早期復旧に取り組んでいます。

また、白岩川ダムと和田川ダムで、異常洪水時防災操作を実施し情報提供に課題があったことから、令和5年度に検討会を設置し大雨に備えた関係機関や住民への情報提供のあり方の検討を行いました。



白岩川越水状況（令和5年6月28日）

### ■ 令和6年能登半島地震

令和6年1月1日に能登半島地震が発生し、県内でも最大震度5強を観測しました。県内の河川、道路、港湾、下水道、住宅等に甚大な被害が発生しました。県民の安全・安心な暮らしのため、被災した公共施設や住宅・宅地等の早急な復旧に取り組んでいます。



地震により崩落した国道359号

### ■ 都市計画道路牛島蛭川線の4車線供用開始

富山駅西側で鉄道と交差する都市計画道路牛島蛭川線では、鉄道の高架化とあわせて平成23年より拡幅等工事に取り組み、令和4年に鉄道交差部の平面化、令和5年12月に車道部を4車線供用し、令和6年3月には歩道部も含めた拡幅及び電線類地中化が完了しました。

これにより、駅周辺の渋滞が緩和され安全な歩行区間の確保、さらには駅周辺の更なる発展が期待されます。



4車線化・無電柱化後の都市計画道路牛島蛭川線